

確かな目で育てる「住生活」

東京都立足立新田高等学校

実施学年：高校2年
生徒数：40人（1学級）
実施教科：家庭科
実施時間数：11時間



3学期という少ない授業時間の中で住生活領域を生徒にとって身近な事象として捉えさせることを念頭に授業展開をした。まず、自立をキーワードにライフサイクルから30年後、今、身近な将来としての進路・進学から家庭経済、家計費（身の回りの費用、さらに進学のための費用）と家計費を理解させる中で家賃（住居費）と住生活領域へと導く。

今回は2学期・期末考査終了後の臨時時間割で家庭総合3時間

連続とし、簡単なレクチャーののち、近所にある住宅展示見学を実施した。「ただいま」という感じで玄関に立ち、部屋の見学を進めさせた。

機能性に富む展示場の住宅を見せて、昔の家、今の家を比較させる中でその歴史、家族との関係性など比較しながら、「確かな目」を持つ学習を進めた。

生徒の家族を投影させるのでなく「サザエさん一家」を成長させ、3つの家の図面を活用した。

また、新聞記事の「世界の家」からその暮らしや家を間取り図から唯の器として家を見るのではなく、家計経済を日本と比較し、文化もあわせて学びの中に取り入れた。

授業のまとめとして、マンション購入と仮定した学習キットで部屋づくりも実施した。

学習のねらい

- 1 住生活領域の内容を身近にするため、自立をキーワードに授業展開を行う。
- 2 身近な事例から、住生活の内容を自分のこととして捉えさせる。
- 3 座学講義以外の授業形態を取り入れて、生徒自身が授業の主体となって、自らが考えながら参加する。

学習活動

- 1 住宅展示場見学
- 2 パワーポイントによる家庭経済の家計費の学習から住居費を考えさせる。
- 3 賃貸情報誌から一人暮らしからの部屋探しをする。
- 4 住空間演習「一人住まい」
- 5 「人はなぜ住まうのか」から住居の歴史、日本の住宅の特徴を知る。
- 6 新聞記事の「世界の家」からその国の住宅事情や紹介されている家の間取り、家賃、家計費などを知り、暮らしぶりなどを新聞記事からまとめる。
- 7 住まいは器であることを「サザエさん一家」を例に家族の成長から間取りの変化を知る。
- 8 間取りから平面図を読み取る力をつける。
- 9 これまでの学習のまとめとして、平面図キットを活用して、間取りを考えさせる。

準備品

- ・VTR「マイホーム、マイルーム」・バーバパパの住宅展示場広告とその絵本
- ・平面図キット（シール）・賃貸情報誌・新聞記事「世界の家」（読売新聞）
- ・サザエさん一家の間取り図を拡大したもの・電子黒板とパワーポイント資料

実施場所

被服室およびHR教室

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>被服室</p> <p>住宅手展示場</p> <p>被服室</p> <p>3 時間</p>	<p>住生活入門、内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR「マイホーム・マイルーム」視聴 ・ 住宅展示場事前学習 ・ 提出用プリント配布・説明 <p>会場での心得・諸注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩で会場へ移動 ・ 4 班に分かれ、指定された家を見学 ・ プリント記入 <p>教室でプリントのまとめ、提出</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外へ出る授業であったので、楽しそうに出発。住宅展示場前で諸注意をしたのち、班行動。各住宅を見回り、生徒は最新機能のある室内をじっくり見学、プリント記入をしていた。学校に戻り、まとめの時間となったが、振り返りも出来、一様に楽しんで授業に参加できたようだ。
<p>被服室</p> <p>2 時間</p>	<p>自立に向けて1</p> <p>電子黒板でのパワーポイント提示による「自分の将来と家庭経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの経済から自身に関わる教育費を調べる作業を行う。(1 時間) 教育費から自立に必要な諸経費を知らせ、住居費について知らせる。 <p>自立に向けて2</p> <p>「ひとり暮らしの部屋さがし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR「マイホーム・マイルーム」視聴ワークシートに記入。(前回見ているが復習を兼ねる)ワークシートの答え合わせ後、自由記述の部分のまとめ(1 時間) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ スピード感のある授業展開であり、自分の身近な経済であったので、周りの生徒と話し合いながらワークシートの記入が出来た。VTRは平面図に見方、日当たりなど再度の復習を兼ねて視聴。自由記述には「ためになった」「役立つ」などが多く見られた。見ることに集中させる、記入しながらでは理解が異なる。
<p>被服室</p> <p>2 時間</p>	<p>自立に向けて3</p> <p>「賃貸情報誌からの部屋さがし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸情報誌に見方の説明 ・ ワークシート、賃貸情報誌を配布失敗した体験事例を紹介、設備などの付帯条件をよく見るように指導。(家賃だけで決めないように注意) ・ 各自で一人暮らしを前提に家さがしをする。(1 時間) ・ 住空間演習「ひとり住まい」のプリント・シール配布。記入の仕方説明。 ・ 時間のある生徒はシールの着色。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 間取りを見るだけでなく、付帯条件が多くあるなど、さまざまな物件を比較しながら、収入に見合う部屋をさがすことに難しさを感じながら学習をしていた。また、周りの生徒と会話しながら学習作業をすることで自分では気づかないことを知ったり、教えたりしていた。

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>HR</p> <p>2 時間</p>	<p>住生活その1 「ひとり暮らしの部屋さがし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住居の機能の変遷 ・ 日本の住まいと気候風土・地域性 <p>住生活その2 世界の家を新聞記事からながめよう人間にとっての住まいとは？</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ どうして家が必要なのか、自分のこととしての気づきから洞窟ではなぜいけないかなどヒントを与えながら進めたことで理解が深まったようだ。世界の家はすべて内容が異なるので他の生徒の記事と見比べてお互いの感想を見たりしていた。
<p>HR</p> <p>被服室</p> <p>2 時間</p>	<p>住生活その3 基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間取りに望まれる居住性 ・ 家族の成長とともに変化する住まい ・ 平面計画シール学習 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎知識を知り、サザエさんの3パターンの間取りを使い、その違い、家族の成長によりリフォームを合わせて学習したことで変化の気づきの理解がしやすかったと思われる。また住み方のイメージがわかりやすく、つぶやきが多く見受けられた。

生徒の作品



先生の声

実施に当たり工夫した点 苦労した点

- 授業の内容に変化をつけ、楽しく学ぶことができるように教材に変化をつけた。
- 過去の蓄積の教材を生徒の質に合わせて、改善しているので授業の流れはスムーズであった。プリントをカラー印刷できるので生徒の評判は良かった。
- 住宅展示場では、事前の交渉は各メーカーの営業所にしなければならないので余裕のある日程で進める必要があった。必ずしも受入れ側が全面的に喜んで受けていないことも分かった。ゆえに事前指導が大切であった。当日もやり取りのFAXなど持参して家にいる係の方に見せるなど連絡が徹底してない家もあった。

児童・生徒の反応

- 「住生活の学習をして人ごとに感じていたものが自分がちゃんと考えないといけないようになるのかと思うようになった。」
- 「このこと（住生活）はきっと将来役立つと思うので良かった。」
- 「これから必要になることをたくさん知ることができて良かった。」
- 「一人暮らしでわからなかったことがわかり、さらに一人暮らしの道が開けた。」
- 「家を探すのは簡単だと思っていたが、考えが 180 度変わりました。探すのは大変だけど楽しいと思います。」

教師の変化 (担当、担当外を含めて)

最後時間の「平面計画シール学習」はこちら側の事前準備（指導方法）がやや不十分であったと反省した。また、時間も足りなかった。この住居の学習は授業形態に変化があり、生徒も楽しんでできると思う。